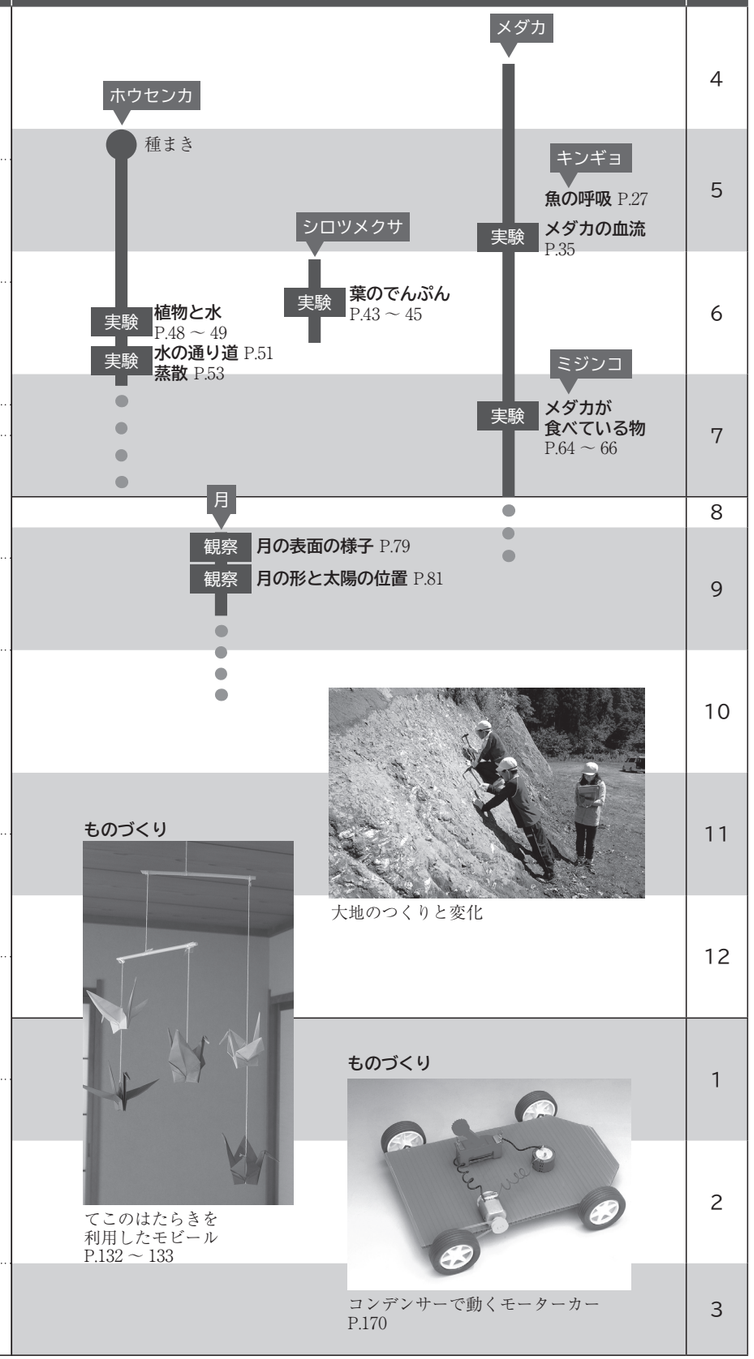
6 学年　1 年間の学習

（ 地域の気象条件などに応じて，学習の適期を逃さないように弾力的に年間計画を作成・運営していくようにしてください。 ）

「時数」内の数字は単元配当時間　（ ）内の数字は標準配当時間
単元配当時間と標準配当時間に差がある単元は，「しらべてみよう」「やってみよう」などにその時間をあてます。

月	単元名	時数	留意点等
4	1　ものの燃え方と空気	8 (9)	・窒素，酸素，二酸化炭素を気体ボンベから捕集して気体のはたらきを調べる。 ・安全めがねの着用と安全への配慮 ◇気体検知管の使い方
5	2　人や他の動物の体	11 (13)	・魚の呼吸では，薄めた牛乳を使いキンギョのえらから出る水の流れを見る。 ・メダカの尾びれの血液の流れを顕微鏡で見る。 ・教科書 P.38「やってみよう（魚の体の中を調べよう）」は，余剰時間を使い，魚の臓器の様子やつながりを調べるとよい。
6	3　植物のからだとはたらき	9 (10)	・晴天の日を選び，シロツメクサの葉に日光が当たるとでんぷんができることを調べる。 ・植物染色液を用いてホウセンカの水の通り道を調べる。
7	○　自由研究	1 (1)	
8	4　生き物と自然	10 (10)	・メダカが食べている物（ミジンコ等）の観察
9	5　月と太陽	6 (6)	・夜に，月の表面観察（事故防止と家庭への協力依頼） ・日中の月（上弦の月または下弦の月のころ）を観察する。天候により観察できなかったときは，1 か月後に行うとよい。理科年表やインターネット，新聞などで月齢を調べ授業日を決める。
10 11	6　大地のつくりと変化	14 (15)	・学校付近に適当な観察露頭がない場合は，遠足や社会見学などの機会を生かすようにする。 ・実際に地層のつくりにふれる学習を大切にし，地層の厚さやつながり，広がりを実感させたい。 ・野外観察での安全配慮（安全めがね等） ・自然災害についても触れる。
12	7　てこのはたらき	10 (10)	・くぎ抜きやてこを使用したことのない児童が多い。導入でくぎ抜きや長い棒を使い，てこのはたらきを実感させ学習意欲を喚起するとよい。 ・ものづくり（てこのはたらきを利用したはかりなど） ◇上皿てんびんの使い方
1	8　水よう液の性質	10 (11)	・石灰水，酢，塩酸，食塩水，炭酸水の 5 種類の水溶液の性質の違いを比べる。 ・安全めがねの着用と薬品の危険性への配慮 ・使用した廃液は，環境に配慮して適切に処理する。 ◇リトマス紙の使い方
2	9　電気の利用	15 (16)	・光電池や手回し発電機を使い発電したり，コンデンサーに電気をためたりして，電気のはたらきを体験的にとらえるようにする。 ・コンピューターを使ってのプログラミングについては，総合的な学習の時間との連携を図るとよい。 ・ものづくり（コンデンサーで動くモーターカー）
3	10　人と環境	3 (4)	・配当時間が少ないので，調査内容を絞って調べ，まとめるとよい。
		97 (105)	

栽培・飼育・観察等
（栽培・飼育・観察等の期間については目安を示しています。）



「P.○」は，児童用教科書のページ数で示しています。

「インターネットで調べてみよう」コンテンツ一覧

1　ものの燃え方と空気（P.17）
気体けんち管の使い方
・気体検知管の使い方を見ることができます。

2　人や他の動物の体（P.31）
食べ物のゆくえ
・食べ物を消化するための消化管の様子を見ることができます。

2　人や他の動物の体（P.36）
心臓の動き
・心臓が血液を送り出す様子を見ることができます。

5　太陽と月（P.85）
月の形の変化
・月の見え方の変化の様子を，時間を縮めて見ることができます。

6　大地のつくりと変化（P.112）
火山登山者向けの情報提供ページ
・火山災害から身を守るための資料を見ることができます。

ものづくりのある単元

7　てこのはたらき
・てこのはたらきを利用したはかりなど

9　電気の利用
・コンデンサーで動くモーターカー

※内容の取り扱い
　２種類以上の「ものづくり」を行う。

教材準備

○ホウセンカの栽培
　６～７月の「植物のからだとはたらき」の単元において，ホウセンカを教材として授業展開するので，４月下旬～５月上旬ころ種まきをして準備しておく。
　学習には白花のホウセンカが適している。白花がない場合は，ピンクなどの淡色系のものを利用するとよい。
　発芽適温は 20 ～ 25℃，密植させて茎が太くならないようにしておくと，水の吸い上げ実験の際にフラスコに入れやすくなる。